

東北支部第54回学術大会 (第6回東北放射線医療技術学術大会)

実行委員長 小松 斉

平成28年10月22日・23日の2日間、豊嶋英仁大会長(秋田県立脳血管研究センター)の指揮のもと秋田市にぎわい交流館AU(あう)において、東北支部第54回学術大会(第6回東北放射線医療技術学術大会)を開催いたしました。この学術大会は、日本放射線技術学会東北支部と日本診療放射線技師会東北地域技師会との合同開催を2011年から始め、今回で6回目を迎えました。今大会では、「今を究める Feel the Future」をテーマに掲げました。日々進化を求められる放射線診療において将来を予感し、課題解決を成し遂げることなどにスポットを当てた企画を行いました。

特別講演は、秋田県で脳卒中を中心とする脳神経疾患に対応する目的で設立された、秋田県立脳血管研究センターの木下先生から、「脳虚血を究める」と題してご講演を頂きました。また、シンポジウムのテーマを「診断参考レベルを究める」として、各診断モダリティの現状、最新の情報及び将来展望についてのお話を頂きました。

大会企画(東北地域診療放射線技師会)として、「医療被ばく低減施設認定について」聖マリアンナ医科大学病院の佐藤寛之先生にお話して頂きました。また、JSRT国際戦略委員会&東北支部合同企画で「英語プレゼンテーション支援セミナー」を開催いたしました。JSRT東北支部企画ハンズオンセミナーでは「Wilhelm Camp -hands-on training-」を実施しました。秋田県診療放射線技師会企画ハンズオンセミナーは「被ばく線量を知ろう!!」と題し、被ばく線量推計ソフトを用いた実践セミナーを行いました。恒例のテクニカルミーティングでは、MRI、放射線治療、医療情報、CT、撮影技術、核医学の6分野からご発言して頂き討論を行いました。

一般演題発表として、137演題の登録を頂きました。手狭な会場のため2日間での開催はかなり厳しい運営で、両日同時4会場の平行進行とならざるを得ませんでした。皆様方には大変ご迷惑をおかけしました。情報交換会についても、240名余りの会員・関係者にご参加頂き、誠にありがとうございました。この様に盛会裏な本学術大会を終了することが出来ましたこと、実行委員一同心より厚く感謝申し上げます。

大会要項

会期・会場 : 平成28年10月22日(土)～10月23日(日)、秋田市にぎわい交流館AU(あう)

テ ー マ : 「今を究める Feel the Future」

参 加 数 : 503名(会員:470名、学生12名、非会員:18名、招待3名)

内 容 : (1)一般演題数137演題(25セッション)

- ① 県別演題数; 青森:14、岩手:9、宮城:30、福島:25、新潟:8、山形:13、秋田:35、その他:3
- ② 分野別演題数; MRI:40、CT:29、一般・マンモ撮影検査:10、消化管撮影検査:3、血管撮影:12、核医学:9、放射線治療:23、医療情報:4、放射線管理:4、マネジメント:1、その他:2
- ③ 所属別演題採用者数; 両会員:86、技術学会会員:31、技師会会員:12、学生:3、学生技術学会会員:3、両非会員:2

(2) 広告37社(全頁20社、半頁17社)、機器展示19社

(3) 特別講演 「脳虚血を究める」

(4) シンポジウム 「診断参考レベルを究める」

(5) 大会企画(東北地域診療放射線技師会・JSRT国際戦略委員会&東北支部合同)

「医療被ばく低減施設認定について」

「英語プレゼンテーション支援セミナー」

(6) 東北支部企画ハンズオンセミナー「Wilhelm Camp -hands-on training-」

(7) 秋田県診療放射線技師会企画ハンズオンセミナー「被ばく線量を知ろう !!」

(8) テクニカルミーティング 6分野

(9) ランチョンセミナー 5題